

## にじのはしファンド サポーターのみなさまへ

日頃から、にじのはしファンドに多くのご支援をいただき、事務局一同、心から感謝いたします。今回、「2017年度決算報告書」及び「2018年度年間活動計画」、ならびに子どもたちの近況をお知らせいたします。どうぞ、ご確認ください。

最初に嬉しいご報告をいたします。

2017年度は、11名の若者が卒業や新しい道に向かって、にじのはしを巣立っていきました。

あやのさんは、山口の大学を卒業しました。そして、在学中に社会福祉士の国家試験に合格しました！3月からは職場の事前研修が始まったようですが、「ずっと学生でいたい、働きたくない」と葛藤しながらも、社会的養護の子どもたちを支える者としての第一歩を踏み出しました。学生時代に学んだことや様々な経験を基に、今後も精一杯頑張っていくと期待しています。

RUさんが、九州の大学から千葉の大学へ飛び立ちました。4年間の学業を通して、大学で研究したマイナー果樹の栽培技術の確立を、これからの研究目標と決めたようです。さらに頼もしいことに、大学で学んだことを生かし後世に伝えるために大学院へ進学し、将来は大学教員を目指すということです。RUさんの今後を楽しみに応援したいと思います。

MKさんが、県内の看護学校を卒業しました。また、無事に看護師の国家試験にも合格しました！3年間の学校生活は、学校での勉強と実習でとても苦労したようですが、努力が実り、4月からは、新人看護師として静岡県の病院で一生懸命、働いていると思います。看護師の仕事は激務だと思いますので、静岡の美味しいものを食べて、元気にがんばってほしいですね。

yayoiさんが、県内の大学を卒業しました。4年間の大学生活は、アルバイトやにじのはしファンドの支援金などをやりくりしながら、授業や実習に精一杯頑張りました。その成果として、4月からは栃木県へ就職が決まり、今は新社会人として、先輩の指導を受けながら一生懸命頑張っていると思います。yayoiさんの今後の活躍を期待して、応援しています。

渡口さんが、県内の大学を卒業しました。4年間の大学生活は、一生懸命学業に打ち込み、将来のことを真剣に考えた日々を過ごしたと思います。「いままで支えてくれた沢山の人達に感謝し、社会人として立派になりたい」という渡口さんを、これからも精一杯応援したいと思います。

うわさの金城さんは、アメリカに本校を置くクリスチャンの大学に進学し、2年間がんばりました。文科省認可外のため、様々な奨学金の対象外となり、にじのはしファンドにたどり着きました。とても信仰深く、お便りでは聖書を分かち合いました。これからは、同大学でインターンとして働きながら、通訳の勉強をするそうです。どのような牧師さんになるのか楽しみです。

えいみーるさんが、県内の専門学校を卒業しました。2年間の学生生活で一生懸命勉強して、資格取得なども頑張りました。4月からは、地元の宮古島に帰り、医療事務員として社会人生活が始まりました。学校での学びと実際の現場での違いに難しさを感じているようですが、それでも、やりがいのある仕事を得て、一生懸命、元気に働いているようです。

一子さんが、県内の専門学校を卒業しました。専門学校では、デザインの勉強をして、就職もデザイン関係の仕事をめざしていましたが、4月からは「無印良品」で新人社員として元気に働いています。希望のデザイン関係での就職は叶わなかったということですが、一子さんは、決してデザイン関係の夢をあきらめてはおらず、働きながらデザインに対しての行動も活発に行うそうです。頼もしいですね！これからも、一子さんを応援したいと思います。

みわさんが、県内の専門学校を卒業しました。高校生の時に美容の仕事に興味を持ち、専門学校では、美容について一生懸命学びました。また、2年間で多くの人との出会いがあり、貴重な経験をしたことと思います。卒業までに就職は決まらなかったのですが、エステ関係の仕事にすることを目標としているようですので、これからも応援したいと思います。

Km-woさんが、大学を卒業しました。にじのはしファンドでの支援は1年と短かったのですが、精一杯、学業に励んだと思います。また毎週開催している、「金ちゃんラーメンの会」レギュラーメンバーとして活躍しています。4月からはバイト先の「サンエー」への正社員を目指し就職活動に励んでいます。これからも、Km-woさんを応援したいと思います。

masakatsuさんは、大学入学から2年間、学業や部活動に励んできましたが、語学の勉強という新たな目標を見つけ、この3月で大学を退学しました。これから1年間、アルバイトで資金を貯めて、来年をめどに語学を勉強するためにワーキングホリデー制度を利用して、海外へ旅立つことを当面の目標としたようです。これからも、masakatsuさんを応援しています。

おかげさまで、にじのはしの活動は8年目に入りました。サポーターも537名へと成長し、現在8名の学生を支援しています。皆様のあたたかいご支援が認められ、この度、美さと児童園から感謝状を頂戴いたしました。心から感謝申し上げます。

なお、2016年度より「沖縄子どもの未来県民会議」による「子どもに寄り添う給付型奨学金事業」の事務局を受託しております。このことは、長年、サポーターの皆様に支えられて続けてきた当会の活動が公的機関から認められたことによります。

2017年度は、関係機関からの要請で5名の支援を行っています。(事務局からのお知らせ参照)社会的養護に対する支援も充実してきている一方で、制度の狭間で支援を受けられない状況もあります。私たちは今後も、子どもたちが困ったとき、手を差し伸べられる活動を続けたいと心から願っております。また、アフターケア事業の一環として、高校生当事者と退所者の交流を目的に「ゆめサポート交流会(ゆめサポ)」を始めました。

そして2018年度から児童養護施設等を退所したすべての子どもたちを対象に、アフターケア事業「実家プロジェクト」に取り組みます。(なお、「実家プロジェクト」事業に関するお知らせは、2017年11月に郵送済み。)彼らがひとりぼっちで悩むことなく、信頼できる大人や仲間と出会い、将来に希望を持ち自立できるよう、共に歩む者として伴走型支援を目指します。

2017年度もサポーターの皆様のあたたかいご支援をいただきましたことを、心より感謝申し上げます。2018年度も、夢に向かって進む子どもたちに皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

2018年5月 にじのはしファンド代表 糸数未希

## 事務局からのお知らせ（重要）

《会計関係》

### ●サポート事業費を事務経費に充てます

皆様からいただいた支援金のうち、2013年度から事務経費につきましてサポート事業費から充当しております。事務局として可能な限りの経費削減に努めておりますが、必要な事務経費につきましては、今年度も支援金の一部を充当いたします。

皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

《学生関係》

### ●2017年度中途開始の新規サポート学生の紹介

☆N Jさん 沖縄大学3年生（関係機関からの要請）2018年1月～7万円

☆S Rさん 通信N高校2年生（児童養護施設出身、関係者からの要請）2018年1月～3.5万円

※特別な事情により毎月のお便りはありませんが、毎月1回は金ちゃんラーメンの会への参加を促し、日常的な見守り支援を行なっています。

☆さちのさん 県内専門学校1年生（ファミリーホーム出身、関係機関からの要請）2018年3月～7万円

### ●資格取得支援のご報告

《運転免許助成5万円》 ☆さりなさん（児童養護施設出身）

《運転免許助成10万円》 ☆MYさん（関係機関からの要請）

《葉膳資格取得支援10万円》 ☆SHさん（児童養護施設出身、関係機関からの要請）

SHさんは自らの体質改善をするための勉強と、自分のように体が弱くて悩む人のために経験を伝えたいと資格取得を目指しています。体質の改善が自立への重要なポイントになると判断し、支援を決定しました。

### ●支援の辞退、終了のご報告

☆Aさん 特別かつ緊急の事情により関係機関からの要請を受け、2016年4月から支援していましたが、親族の献身的な努力の結果、公的な支援が決定し、2017年8月末をもって、にじのはしファンドとしての支援を終了しました。皆様のご支援、ありがとうございました。

☆マナツさん ☆ひーなさん ☆よしみさん（3名） 社協の貸付金受給決定のため辞退

\*よしみさんは2017年度で大学を卒業していますが、教職取得のために2018年4月から1年間、支援を復活しました。（3.5万円）

### ●支援額を変更しました

☆あやのさん 5万⇒3万

（2017年8月～/社協の貸付金を併用受給。就活や学費のため減額して支援継続）  
3万⇒5万（2017年10月～12月/後期学費支払いのため）

☆y a y o iさん 5万⇒7万（2017年4月のみ/国試の準備のため）

5万⇒3万（2017年8月～/社協の貸付金を併用受給。本土就職や国家資格取得でバイトが出来ないため減額して支援継続）

☆もりへいさん 6万⇒3万（2017年8月～/社協の貸付金を併用受給。就活中でバイトが減ったため減額して支援継続）

☆Km-woさん 5万⇒3万（2017年8月～/社協の貸付金を併用受給。本土就活やバイト減のため減額して支援継続）

☆S Rさん 3.5万円⇒8万円（2018年1月のみ/スクーリング代の支援のため）

## ●2017年度より「ゆめサポート交流会（ゆめサポ）」が定例化しました！

2016年度3月から始まった、高校生当事者と退所者の交流会「ゆめサポート交流会（ゆめサポ）」が8月、12月、3月の年3回定例で行うことになりました。

世代や出身施設を超えて交流することで、将来の進路選択のヒントを得られ、退所後の生活の不安の軽減が図られることを目的としています。これまでに4回開催していますが、楽しみに参加する高校生も増えてきました。今後も積極的な参加を募り、継続した支援を目指します。

## ●2018年度より「実家プロジェクト」を本格始動します。

退所後にフラッと立ち寄り夕食を共にする居場所を作りました。

「金ちゃんラーメンの会」は那覇市にじの森文庫にて、毎週金曜日の夜7時から。

「おかえりなさいの会」は主に中部地区にて、第2土曜、第4日曜の夜、定期開催しています。

時には一人一人の話にじっくり耳を傾け、彼らの周辺にもいる仲間の情報を得ることもあり、退所後の困りごと相談に対応できるよう努めています。彼らの安心できるよりどころになればと願っています。現在、リピーターが増えています。（詳しくはカラーページの報告をご覧ください。）

子どもたちのお便りの郵送は、希望者のみに行なっています。

ご希望の方は、事務局までお電話またはメールでお知らせください。

インターネットのブログでは、いつでもお便りを読むことができます。

ブログへの読者登録をよろしくお願ひします。

《にじのはしファンド事務局》

〒902-0071 那覇市繁多川4-22-6

ブログの URL : <http://nijinohashi-fund.blogspot.jp/>

「にじのはしファンド」で検索！

メールアドレス : [nijinohashi.okinawa@gmail.com](mailto:nijinohashi.okinawa@gmail.com)

(ニジノハシ ドット オキナワ アットマーク ジーメール ドット コム)

電 話 : 080-6482-8484 (夜は午後8時まで)

※電話に応答できない場合は、こちらから折り返しお電話いたします。

①お名前 ②ご住所 ③連絡先電話番号、とメッセージを残してください。

## にじのはしファンドの活動を広めてください

### ● お友だちをご紹介ください

児童養護施設等のお子さんについて関心をお持ちの方に、にじのはしファンドの活動についてご紹介ください。ご希望の方には、事務局から資料をお送りします。

## 当ファンドの入会・退会は自由です。

\* お気軽に、事務局までメールもしくはお電話ください。

\* 退会ご希望の場合は、退会希望月の10日までに事務局にご連絡ください。

## 2017年度活動報告

	事務局	支援学生
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度支援金送金開始(各月1日送金)</li> <li>・支援学生からのお便り公開(毎月、ブログ)</li> <li>・新年度子どもに寄り添う給付型奨学金助成事業開始</li> <li>・金ちゃんラーメンの会(毎月)</li> <li>・NPO法人四つ葉のクローバー様アフターケア事業連携開始</li> <li>・決算資料作成 ・定例会(毎月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度支援金受給開始(各月1日入金)</li> <li>既存学生:16名 新規学生:3名</li> <li>・お便り送付(各月中旬頃に事務局へメール)</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決算報告(ペーパー、ブログ)</li> <li>・アフターケア事業「ゆずりは」視察(東京)</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄子どもの未来県民会議出席</li> <li>・沖縄県男女共同参画センター「ていするちゃんがいっく！」代表インタビュー掲載</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サンシャインゆいまーる様よりご寄付</li> <li>・金ちゃんラーメンの会を毎週開催へ</li> </ul>	新規支援学生1名支援開始
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄電力総連様よりご寄付</li> </ul>	支援学生4名辞退
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度支援事業説明文送付(県内児童養護施設、ファミリーホーム、里親会へ)</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちのお便り&amp;事務局からのお知らせ送付(来年度からの実家プロジェクト開始について)</li> </ul>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆめサポート交流会</li> <li>・NPO会計講座に参加 ・支援希望学生面談</li> </ul>	1名支援終了(卒業)
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度新規支援学生面接</li> <li>・遺贈寄付入門研修に参加</li> <li>・サンシャインゆいまーる様よりご寄付</li> </ul>	新規学生2名支援開始
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県ファミリー・サポート・センター様によるアドバイザー研修事業にて代表シンポジスト(与那原)</li> <li>・NPO法人四つ葉のクローバー主催「ドリームライブ」にて代表シンポジスト(滋賀)</li> </ul>	
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・壮行会参加(石嶺児童園、美さと児童園、島添の丘、愛隣園)</li> <li>・石嶺児童園様より感謝状の表彰を受ける</li> <li>・ゆめサポート交流会 ・年度末締め</li> <li>・次年度新規支援学生紹介(ブログ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援増額相談強化期間</li> <li>・10名支援終了(9名卒業、1名中退)</li> <li>・新規学生1名支援開始</li> </ul>

## 2018年度 年間計画案

	事務局	支援学生
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度支援金送金開始(各月1日送金)</li> <li>・支援学生からのお便り公開(ブログ、毎月)</li> <li>・新年度子どもに寄り添う給付型奨学金助成事業</li> <li>・決算資料作成 ・定例会(毎月)</li> <li>・金ちゃんラーメンの会開催(毎週)</li> <li>・NPO法人四つ葉のクローバー様アフターケア事業連携</li> <li>・実家プロジェクト開始</li> <li>・親子勉強会にて代表講話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度支援金受給開始(各月1日入金)</li> <li>既存学生:8名</li> <li>・お便り送付(各月中旬頃に事務局へメール)</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決算報告(ブログ公開及び文書郵送)</li> <li>・りゅうちゃん子どもの希望募金助成先に決定</li> <li>・2018協同集会IN那覇にて代表シンポジスト(那覇)</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第22回米百俵賞贈呈式(新潟)</li> <li>・あすなるサポートステーション視察(神奈川県)</li> <li>・沖縄子どものみらい県民会議出席</li> <li>・沖縄県アフターケアネットワーク会議(仮称)開始</li> </ul>	
8月	ゆめサポート交流会	支援増額相談強化期間
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度支援学生募集説明(県内児童養護施設)</li> <li>・次年度支援学生受付・面接(～3月)</li> </ul>	支援申し込み・面接(～3月)
12月	ゆめサポート交流会	
1月	12日 四つ葉のクローバー様主催シンポジウム出席	
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度支援学生最終人数決定</li> <li>・ゆめサポート交流会 ・年度末締め</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業(支援終了、7名予定)</li> <li>・支援増額相談強化期間</li> </ul>

## にじのはしファンド

### 2017年度 決算報告 (2017年4月1日～2018年3月31日)

#### 収入の部

科目	2017年度予算	決算額	増減	備考
会費収入	10,800,000	11,015,000	215,000	目標口数(@1,000×900口×12ヶ月)
寄付	1,000,000	1,777,423	777,423	
助成金	0	0		
雑収入	36,700	96,088	59,388	利息 沖縄子どもの未来県民会議からの事務経費 (通信費2千円/月、月極駐車場代6千円/月)
前期繰越金	18,736,013	18,736,013	0	
合計	30,572,713	31,624,524	1,051,811	

#### 支出の部

科目	2017年度予算	決算額	増減	備考	
事業費	8,835,000	にじのはし 奨学金	6,885,000	—	毎月の仕送り:6,635千円 資格取得支援:250千円
		アフターケア事業	94,073		金ちゃんラーメンの会(1回/週) ゆめサポート交流会(3回/年)
		計	6,979,073	-1,855,927	他制度利用による、支援辞退のため
システム利用料	12,000	12,000	0		
引落手数料	660,000	616,431	-43,569		
通信費	136,000	120,871	-15,129	電話代、切手(決算報告書、お便り)	
事務用品・備品	30,000	16,183	-13,817		
印刷費	15,000	28,400	13,400	決算書類、お便り	
交通費	96,000	67,940	-28,060	駐車料金(定例会、交流会)	
養成費	100,000	18,000	-82,000	NPO会計研修参加費 全国自立援助ホーム協議会参加費	
賃借料	259,200	333,000	73,800	事務所家賃(21,600円/月) 月極駐車場代(6,150円/月)	
雑費・その他	110,000	52,800	-57,200	監査報酬、交流会謝金等	
次期繰越金	20,319,513	23,379,826	3,060,313		
合計	30,572,713	31,624,524	1,051,811		

金融機関名	残高
琉球銀行	11,807,389
沖縄銀行	1,083,480
海邦銀行	162,940
ろうきん	137,957
ゆうちょ	10,176,560
小口現金	11,500
合計	23,379,826

\* 通信費(電話代)と賃借料(月極駐車場代)は、沖縄子どもの未来県民会議が負担しています

# 監 査 報 告 書

にじのはしファンド  
代表 糸数 未希 殿

にじのはしファンドより要請のありました2017（平成30年3月期）年度の会計について、2018年5月22日（火）、弊所事務所において監査を実施いたしました。

1. 収入については、徴収台帳と照合したところ、一致していることを確認しました。
2. 支出については、サポート事業費として適正に支出されていることを確認しました。
3. 残金が以下の預貯金口座に保管されていることを確認しました。

琉球銀行寄宮支店 沖縄銀行崇元寺支店 沖縄海邦銀行寄宮支店  
沖縄県労働金庫本店営業部 ゆうちょ銀行 小口現金

関係書帳簿及び証拠書類について監査の結果、適正妥当に処理されていることを認めます。

以上

2018年5月22日

友利税理士事務所  
代表税理士 友利勇栄



にじのはしファンド

2018年度 予算案  
(2018年4月1日～2019年3月31日)

収入の部

科目	2017年度 予算	2017年度 決算額	2018年度 予算	差額 (昨年度予算)	備考
会費収入	10,800,000	11,015,000	11,000,000	200,000	目標口数(@1,000×917口×12ヶ月)
寄付	1,000,000	1,777,423	1,000,000	0	
助成金	0	0	500,000	500,000	りゅうちゃん募金(50万円)
雑収入	36,700	96,088	1,000,100	963,400	米百俵副賞(100万円) 利息
前期繰越金	18,736,013	18,736,013	23,379,826	4,643,813	
合計	30,572,713	31,624,524	36,879,926	6,307,213	

支出の部

科目	2017年度 予算	2017年度 決算額	2018年度 予算	差額 (昨年度予算)	備考
(1)にじのはし奨学金	8,835,000	6,885,000	6,300,000	/	毎月の仕送り: 6,000千円 資格取得支援: 300千円
(2)アフターケア 事業		94,073	573,000		食費: 金ちゃんラーメンの会(1回/週) ゆめサポート交流会(3回/年) おかえりなさいの会(2回/月) 北部拠点(1回/週)
実家プロジェクト + (プラス)		-	1,220,000		家賃、光熱水費、食費、消耗品、備品、交通費 (りゅうちゃん募金、米百俵副賞より充当)
総事業費 (1)+(2) 合計		6,979,073	8,093,000		-742,000
システム利用料	12,000	12,000	12,000	0	リウコム
引落手数料	660,000	616,431	620,000	-40,000	
通信費	136,000	120,871	120,000	-16,000	電話代、切手(決算報告書、お便り)
事務用品・備品	30,000	16,183	20,000	-10,000	
印刷費	15,000	28,400	30,000	15,000	決算書類、お便り
交通費	96,000	67,940	144,000	48,000	駐車料金等(定例会、交流会)
養成費	100,000	18,000	100,000	0	
賃借料	259,200	333,000	259,200	0	事務局家賃(21,600円/月)
諸会費	-	-	35,000	35,000	全国自立援助ホーム協議会参加費 アフターケア事業全国ネットワーク年会費 アフターケアネットワークおきなわ(仮称)年会費
雑費・その他	110,000	52,800	30,000	-80,000	監査報酬等
次期繰越金	20,319,513	23,379,826	27,416,726	7,097,213	
合計	30,572,713	31,624,524	36,879,926	6,307,213	

\* 実家プロジェクト+(プラス)は、りゅうちゃん募金(50万)と米百俵副賞(100万)より支出します。

\* H30年度 予算案は、「にじのはしファンド」と「子どもに寄り添う給付型奨学金事業」の費用を分けたため、  
昨年度に計上していた、沖縄子どもの未来県民会議の負担分『通信費(電話代)・賃借料(月極駐車代)』は削除しています。



## ○第 22 回米百俵賞を受賞しました！

2018年3月、にじのはしファンドは「第22回米百俵賞」(新潟県長岡市主催)を受賞いたしました。

同賞は、人材育成に大きな成果をあげた個人や団体に贈られる賞で、沖縄県では初の受賞となります。この賞は、当会が給付型奨学金によって県内の社会的養護の下で育った子どもたちの進学や資格取得を支援することや、児童養護施設で生活する高校生当事者と退所者との交流事業などを評価いただいたものです。

当会のサポーターの一人が米百俵財団に推薦して下さり受賞いただきましたが、この賞は、一重にサポーターの皆様が社会的養護の下で育った子どもたちへ深い愛情とご理解を示していただき、支援をして下さることが評価されたものと、事務局一同、改めて深く感謝申し上げます。

6月16日(土)に長岡市で行われます授賞式で、副賞100万円が授与されますが、これにつきましては、2018年度より本格的に始動いたします、児童養護施設等を退所したすべての子どもを対象としたアフターケア事業「実家プロジェクト」の資金として活用したいと考えております。



にじのはしファンド  
退所者支援活動評価  
県内初、米百俵賞  
児童養護施設の退所者を支援する「にじのはしファンド」(那覇市、系数未希代表)が3月末、第22回米百俵(ひゃっぴょう)賞(新潟県長岡市主催)を受賞した一写真。同賞は人材育成に大きな成果を挙げた個人や団体に贈られる。にじのはしファンドは給付型の奨学金で、県内の社会的養護が必要な退所者をサポートする活動が評価された。県内では初めての受賞。6月16日の贈呈式で、長岡市米百俵財団から副賞100万円が贈られる。系数代表は「団体のサポーターが米百俵賞に推薦してくれた。沖縄の子どもを支えたいという強い気持ちの人たちがいてうれしい。受賞でき光栄だ」と語った。副賞は、退所者の居場所を提供する「実家プロジェクト」に使う考えだ。にじのはしファンドは2011年から活動を始め、今年で8年目。サポーターから毎月10千円の会費を集め、毎月定額を生活費の一部として退所者に仕送りする。17年4月時点のサポーターは529人で、県内の児童養護施設を退所して進学した大学生や専門学生49人を支援してきた。今後は就職した退所者の支援にも力を入れる。

琉球新報 2018年5月2日(水)



「にじのはし」に米百俵賞  
養護施設卒園者支援を評価  
新潟の長岡市米百俵財団(役員管理事務)が主催する「第22回米百俵賞」に、児童養護施設などの出身学生を援する「にじのはしファンド」のサポーターの寄付で施設卒園者を支援し、給付型奨学金を積極的に困難な子どもたちの進学や生活の基礎づくりにつなげる取り組みが評価された。6月16日に長岡市の「米百俵デー市民の集い」で贈呈する子どもたちと食事しながら、会話を弾ませる系数代表(中出)と、那覇市に代りての發文庫。星氏が答へ、ファンドのサポーターと喜んだ。

が、賞の理念や団体の取り組みが一致していると推薦文を書いて申請したという。系数未希代表は「子どもたちを支えたい」と、強い思いを持った人たちがいることがうれし。思いが伝わり評価され、光栄です」と喜んだ。

沖縄タイムス  
2018年4月29日(日)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

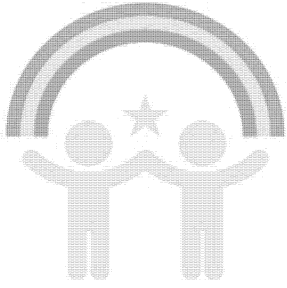
## ○りゅうちゃん子どもの希望募金助成事業(平成 30 年度事業) 交付決定しました！

この度、社会福祉法人沖縄県共同募金会による「りゅうちゃん子どもの希望募金助成事業(平成 30 年度事業)」として、当会の「社会的養護退所後のアフターケア『実家プロジェクト+(プラス)』」に対して50万円の助成金交付が決定いたしました。

本事業は、社会的養護退所者において、失業などで住まいを失ってしまった方、或いは何らかの事情で保護を要する方に、緊急対応できるワンルームをシェルターとして用意することが、認められました。現在毎週定例で行っている「金ちゃんラーメンの会」の参加者の周辺からも、そのような対象者が行くあてがなく、友人知人のところを転々としているとの情報があり、実家を持たない彼らが孤立することのないよう、安心できる居場所を提供することで、自立への仕切り直しを行い、共に歩んでいけるよう、物心両面からの支援を目指します。

今回の助成によって、にじのはしファンドの新たな可能性の扉が開くことを、サポーターの皆様にもご報告し、当事者をはじめ皆様のご期待にそえるよう、事務局一同、挑戦する1年にして参ります。

サポーターの皆さまのご支援に改めて感謝申し上げますと共に、今後とも変わらぬご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## にじのはしファンド

にじのはしファンドは、サポーターの皆さまからの温かいご寄付により活動を行っています。進学支援から始まった取り組みも8年目を迎え、退所後の生活支援(アフターケア)へと活動の幅を広げております。今回、当会の活動内容をまとめてみました。今後ともご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

サポーター様からのご寄付による支援

給付型奨学金事業

**にじのはし奨学金**

\* 学費・生活費支援 \*

- 支援学生へ毎月の仕送り
- 資格取得支援

**子どもに寄り添う給付型奨学金**  
 沖縄子どもの未来県民会議との協働事業  
 ～2016年度より開始～  
 \* 入学金・授業料助成 \*

原資: 沖縄子どもの未来基金



沖縄  
子どもの未来  
県民会議

アフターケア事業

**実家プロジェクト**

**金ちゃんラーメンの会**  
居場所づくりを目的に夕食会を開催  
(那覇/週1回)

**ゆめサポート交流会**  
高校生当事者 & 退所者との交流会を開催  
(那覇/年3回)

**おかえりなさいの会**  
中部地域在住の退所者を中心とした  
居場所の提供(中部/月2回)  
※活動費用を一部助成しています。

北部地域での定期交流会  
... 準備中...

**実家プロジェクト+(プラス)**  
**シェルター**  
 ～2018年度 チャレンジ事業～  
 緊急利用できるワンルームを用意し、  
 自立へのサポートを行います。

原資: 第22回 米百俵賞副賞(100万円)  
 2018年度 りゅうちゃん子どもの希望募金(50万円)

**【連携団体】**  
**にじの森文庫(子ども図書館 & 子ども食堂)**  
 ～那覇市子どもの居場所事業～

以下の活動の拠点でもあります。

- 金ちゃんラーメンの会
- ゆめサポート交流会
- にじのはしファンド事務局
- 子どもに寄り添う奨学金事務局

